

05N031_ABPC

Atezolizumab (Day 1) + Bevacizumab (Day 1) + PTX (Day 1) + CBDCA (Day 1) 3or4週毎 4-6コース

◆ _____月_____日 (Day1) から _____コース実施。 (外来で実施 ・ 入院で実施)

- ◆ 免疫チェックポイント阻害薬導入時は「投与前スクリーニングセット検査」が必要です。
 ◆ 検査が実施されない場合、がん化学療法の実施は認められません。
 ◆ アルコールに対する過敏症はありませんか？ → (有 , 無)

Rp. 商品名	用量 [基準量]	投与方法	Day 0	1	2	3	4	5	6	7
1 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
2 生食注 (250mL) テセントリク点滴静注	1 袋 1200mg [1200mg/body]	div / ※1 1hr		○						
3 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
4 生食注 (100mL) ベバシズマブBS点滴静注	1 瓶 _____ mg [15mg/kg]	div / ※2 1.5hr		○						
5 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
6 生食注 (100mL) デカドロン注射液1. 65mg ボララミン注5mg ガスター注射液20mg	1 瓶 10 A 1 A 1 A	div / 15min		●						
7 グラニセトロン点滴3mgバッグ アロカリス点滴静注 235mg	1 袋 1 瓶	div / 30min		●						
8 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						
9 テルモ生食 (500mL) パクリタキセル注	1 袋 _____ mg [175mg/m ²]	div / 3hr		○						
10 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						
11 ブドウ糖注 5% (250mL) カルボプラチン注	1 袋 _____ mg [AUC 6]	div / 1hr		○						
12 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						

※1 テセントリク注は、初回の忍容性が良好ならば2回目以降は30分で投与可。

※2 ベバシズマブ注は、初回の忍容性が良好ならば2回目60分、3回目以降30分で投与可。

- ・テセントリク注の輸液は、生食250mL限定
- ・テセントリク注の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2~0.22 μ m)を使用すること。
- ・パクリタキセル注投与時には、0.22ミクロン以下のメンブレンフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。
また、点滴用セット等で溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。